

日光御神領の由来と 昔の篠井の人々の暮らし

日光東照宮の神事、「神田御田植祭」と「神田抜穂祭」の実施や、毎年8月に収穫した茄子を奉納する「茄子盛」の風習(石那田町)が残されているなど、篠井地区は日光東照宮と縁のある地区にあります。

本講座では、日光東照宮の神領の範囲や規模、その統治の模様などを通して、昔の篠井の人々がどのように暮らしていたかを学習します。

開催 令和8年9月13日(日)午前10時～正午

会場 篠井地区市民センター・ホール

講師 県立博物館名誉学芸員 柏村 祐司 氏
とちぎ未来大使

定員 市内在住の18歳以上の人を対象に先着50名

申込 8/5(水)午前9:30より、直接来館または電話、Eメールで講座名、住所、電話番号、氏名、ふりがなを提示の上、お申し込みください。

(※) 掲載している画像は、実物と異なります。

【申し込み・問合せ先】

篠井生涯学習センター(篠井地区市民センター)

宇都宮市下小池町466-1 ☎669-2515

Eメール u2223@city.utsunomiya.tochigi.jp